

設計・施工資料	内装建材	樹脂性化粧見切
	見切・目地	アルミサッシ用樹脂製見切 <b>サッシ見切2型</b>

## サッシ見切2型

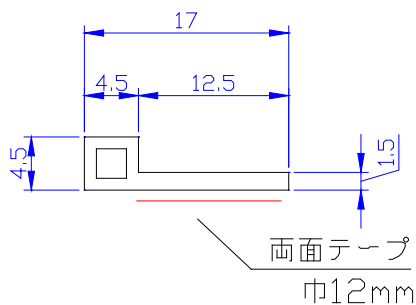
### ■設計施工時の注意

本製品は屋内のアルミサッシ向け、結露水をストップさせ、化粧材まで届かせない見切材です

#### ！注意！

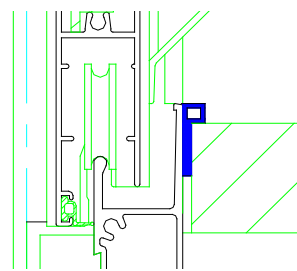
- アングルなしサッシの施工時は両面テープの施工となりますが、ホコリ等の汚れを十分に拭き取り、きれいな状態のサッシへしっかりと貼り付けてください。  
また、両面テープのみの施工の場合は、温度変化により製品が伸縮するため、ジョイント部・入隅部には若干の隙間(2mm程)を設けて施工してください。(隙間が空けられない場合は、必ず下地にビス止めしてください)
- アングル付きサッシの施工時は、すべてのアングルのビスをサッシ見切2型に貫通するように打ち込んでください。

### ■製品図

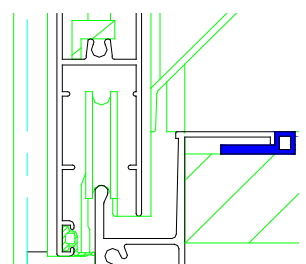


### ■基本納まり図

#### ●アングルなし



#### ●アングル付き



### ■施工要領

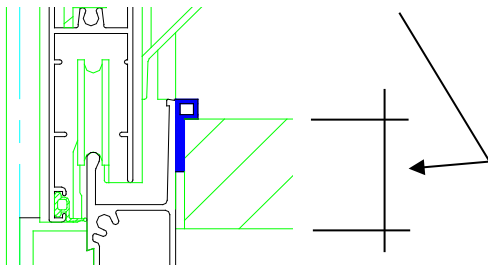
#### ●アングル『なし』の施工

- ①下地へ貼り付けの前に、アルミサッシをきれいな状態にしてください。



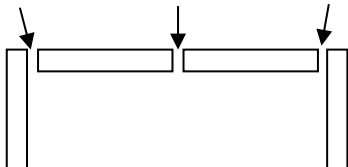
**ポイント！ホコリ汚れがないように**  
サッシが汚れている状態で貼り付けると、密着不良による施工後の不具合(飛出し・変形)が発生する恐れがあります。

- ②両面テープにてアルミサッシへ貼付け  
取付は、窓枠材の位置を確認した上で実施してください。



**ポイント！アルミサッシに十分に圧着**  
密着具合が悪いと、密着不良による施工後の不具合(飛出し・変形)が発生する恐れがあります。

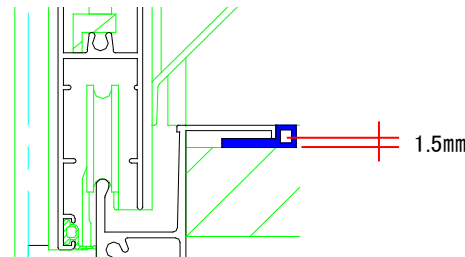
・本体のジョイント部や入隅部は隙間を2mm程度あけてください。



**ポイント！隙間には充填材を入れないこと！**  
充填材(コークボンド等)を入れると、温度変化による本体の動きに追従しきれず、はみ出しや切れが発生する恐れがあります。

#### ●アングル『付き』の施工

- ①窓枠材を取り付ける際には、アルミサッシと隙間1.5mmを考慮(サッシ見切2型分の厚み1.5mm分)して取付けてください。  
※窓枠材に貼付けた上で、窓枠材ごと施工しても構いません。



- ②サッシアングルのビスを止めるとき  
サッシ見切2型ごと貫通させて打ち込んでください。

